

■平成22年度 後期 「音楽科特別講座」名古屋会場

平成23年2月19日(土)

会場 名古屋音楽大学

主催 音楽教育推進協議会

参加人数:114名

全体講座1講座

選択講座5講座

後援
文部科学省
長野県教育委員会 富山県教育委員会
石川県教育委員会 福井県教育委員会
静岡県教育委員会 愛知県教育委員会
岐阜県教育委員会 三重県教育委員会
名古屋市教育委員会 浜松市教育委員会

協力
名古屋音楽大学

協賛
ヤマハ株式会社

◆名古屋音楽大学大学院生による ウェルカムコンサート

木管五重奏

1. 三つの小品 より 第一楽章
2. ノヴェルlette
3. サウンド・オブ・ミュージック セレクションより

J.イベール 作曲
F.プーランク 作曲
R.ロジャース 作曲
B.ホルンビー 編曲

4. 日本の歌メドレー

花いちもんめ ~ 浜辺の歌 ~ 村祭り ~ ふるさと

花いちもんめ / わらべうた
浜辺の歌 / 成田 為三 作曲
村祭り / 南 能衛 作曲
ふるさと / 岡野 貞一 作曲
山本 教生 編曲

フルート	永津 柚季	(名古屋音楽大学 音楽学部1年)
オーボエ	杉崎 賢太	(名古屋音楽大学 音楽学部2年)
クラリネット	廣瀬 理子	(名古屋音楽大学 音楽学部3年)
ホルン	鈴木 香穂里	(名古屋音楽大学 音楽学部3年)
ファゴット	中山 優希	(名古屋音楽大学 音楽学部2年)



全体講座

『歌うの大好き！！』～大人になっても歌い続けられる子どもを育てよう～
渡邊 直実 （昭島市立中神小学校主幹教諭）

- 自己紹介
- 「歌うの大好き！」って思わせるには、教師の意図的な仕掛けが必要。
高学年になるとだんだん歌わなくなる～ってほんとう？
教師は、子供が「歌うのは、楽しい！」って思う仕掛けをしましょう。
児童の発達段階によって「楽しい」は変化します。

【低学年編】

子供は自分のことでせいいっぱい。みんなでいっしょに活動する楽しさを味わせましょう。学習環境(教室)を整えましょう。机はできるだけ教室の外に出して。空き教室、音楽室、などを活用。空間をつくる 大きな円を描いて座るなどして、みんなが一緒に活動していることを視覚で確かめさせましょう。

○体を動かしながら歌いましょう

〔しろくまのジェンカ〕〔もりのくまさん〕〔ドレミのうた〕

○情景を思い浮かべて歌いましょう 歌声の価値づけをする

〔きらきらぼし〕〔夕やけこやけ〕〔春がきた〕



歌唱授業の導入 ‘はじまりメニュー’

だいたい3年生から専科が音楽を担当しますので、歌唱中心の題材のときは、授業の始めに歌う準備体操のようなことをします。

【中学年編】

他を認識して、集団で活動する楽しさを味わう。生活班などグループ活動がしやすい学習体形を取り入れる。友達とかかわりながら音楽を楽しむ。

○友達といっしょに歌いましょう

〔茶つき〕〔うさぎ〕〔おどろう楽しいポーレチケ〕

○ひびきのある声で歌いましょう

〔ふじ山〕〔いろいろな木の実〕〔もみじ〕

【高学年編】

集団の中で協力し合って作りあげる。習得した知識や技能を活用して表現に生かす。楽曲の理解の深まり。より主体的な活動。

○曲の分析をして、表現に生かそう

〔冬げしき〕〔スキーの歌〕〔ふるさと〕

○ハーモニーを楽しもう

〔それは地球〕〔ピリーブ〕〔つばさをください〕

○全校児童で歌う楽しみ

ミュージックコミュニケーション(音楽集会)の活用

<参加者のアンケートより>

- ・「まず教師が楽しむ」は、私と同じ考えで嬉しかったです。授業の方法も似ており、間違っていなかったという自信を持つことができました。
- ・ピアノが未熟な私は自分の手元に集中しがちで…。あの機械を買ってほしいと思いました。
- ・音楽は「心が動く 学習」という言葉が心に残りました。私自身が子どもたちの心を動かすしかけをしているか自問しました。もっともっとしかけていきたいと思います。
- ・はじまりメニューで歌が私も大好きになりました。ありがとうございました。
- ・もともと自分はうたが好きなので、キラいな子がなぜうたわわないのかわかりませんでした。なんとなく、うたわない訳、楽しくない理由が見えた気がしました。

■ 選択講座 A

私の授業（鑑賞と音楽づくり）

中村 美雪（岐阜市立合渡小学校 教諭）

鑑賞の授業

- (1)「何を」「どこまで」ねらいとするのか。
- (2)[共通事項]を手掛かりに、表現の活動とつなげる。
- (3)言語活動は何のため？

3 音楽づくりの授業

- (1)「何を」「どう」指導するのか。
- (2)0から1は生まれえない、1から3が生まれる。

4 実践

- (1)「くりかえしで〇〇ゴジラのテーマ」(中学年)
- (2)「な～んちゃって ケチャ」(高学年)

5 ポストリユード

- (1)題材指導計画
- (2)学級づくりが基本
- (3)「割り切り」と「こだわり」
- (4)「必要は発明の母」

<参加者のアンケートより>

- ・子どもにつけたい力、目標を定めてから、細かなメニューを組んでいく。パーツをいかに工夫するかの重要性を学ぶことが出来ました。
- ・鑑賞と音楽作りを別々に考えていたのですが、授業の中で続けて行うということでした。なるほどと感心しました。「自由に」と児童に言うてしまうことがあるので、先生のように上手な指導が出来るようになればなと思いました。教材研究をがんばろうと思いました。ありがとうございました。



■ 選択講座 B

鍵盤ハーモニカの基礎と応用

加藤 幸平（音楽教育推進協議会 理事）

○新学習指導要領から見る鍵盤ハーモニカ学習の位置づけ

○はじめての出会い

- 楽器との出会いを工夫する

○「ど」の音 どうする？

- 教えるから気づかせる工夫

○「ドレミ」だけ？「ミレド」もあるよね

- さまざまな身近な旋律

○「教科書教材」と上手に付き合う方法

- 教材の研究

○「表現」と「鑑賞」の活動

- 感じる学習と聴く学習
- どうする？「音楽づくり」



<参加者のアンケートより>

- ・加藤幸平先生の講座を何度受けても、学ばさせていただく事が盛りだくさんで、今回もあっという間に時間が過ぎてしまいました。面白いことと楽しいことの違い、考えたこともありませんでした。基礎基本なんですね。新しい学習指導要領のお話もう一度見直す、良いチャンスになりました。先生の子どもたちに話すことば、鍵盤ハーモニカの音色のすばらしさ、共通事項を教えるのではなく、共通事項で教えることetc.たくさんおみやげをいただきました。目からウロコでした。月曜日の授業をするのが楽しみになってきました。本当にありがとうございました。
- ・授業の導入や組み立てについていろいろ勉強になりました。ありがとうございました。低学年に、楽しく音楽と出会わせるワザ、コツなどを教えていただきました。私自身も楽しませていただき、時間があっという間に過ぎました。ありがとうございました。

■選択講座 C

リコーダーの基礎と応用

山田 洋一 (音楽教育推進協議会 理事)

テーマ

「リコーダー導入期の指導のポイントと簡単なアンサンブルを体感しよう」

子どもたちがはじめてリコーダーに出会った時から、音楽表現ができるリコーダー。

指導のポイントを知り、歴史を踏まえた楽曲や魅力的で豊かな表現の世界を探りましょう。

子どもたちが楽しくリコーダーに取り組む初歩指導のアイデア

- ・持ち方で音色が変わる！
- ・ブレスコントロールは表現したい気持ちから
- ・タッピングで指の感覚アップ！
- ・フレーズを豊に表現するタンギング
- ・低音域はソツと吹くの？
- ・サミングの秘密
- ・美しいフレーズ表現は指揮者しだい



色々な楽器を体験しよう

授業で出来るアンサンブル

- ・あわせよう楽しい歌と



アンサンブルで広がるリコーダーの世界

<参加者のアンケートより>

- ・いろいろなリコーダーを吹くことができ貴重な体験が出来ました。また基本的なリコーダーの選び方、タンギングの仕方、吹く姿勢など即実践できることをたくさん教えていただけて良かったです。
- ・リコーダーの構える角度によって、こんなにも音色が変わるんだということがわかりました。色々なタンギング(息の出し方)を使って楽しい演奏が出来る指導をしたいと思います。

■選択講座 D

指揮法

笹森 敏明 (指揮, 作・編曲家)

基礎編

1. 拍子のとり方
2拍子、3拍子、4拍子、5拍子？、6拍子……
2. 色々なアウフタクト(弱起)
4分音符、8分音符、16分音符……
3. 拍に含まれる音符の長さによる振り方の違い
全音符…8分音符16分音符…3連符……

応用編

1. 左手の使い方と、より幅広い表現方法
2. その他…変拍子…？

等々、やることは色々ありますが、
指揮者・指導者が一番やらなければならないことは
合わせる…合唱、合奏…力を付けてやること
リズムを合わせる
音程を合わせる
響きを合わせる
気持ちを合わせる

先生の気持ちは生徒たちに伝わっていますか？

生徒たちの気持ちは先生に伝わっていますか？

では 素敵な音楽を始めましょう

<参加者のアンケートより>

- ・笹森先生のご指導が、非常に楽しく、1時間半の中にたくさんのエッセンスがちりばめられており、本当に今日のこの機会をありがとうございました。子どもにとって、分かりやすく、音楽を楽しめるような言葉や指揮のヒントをたくさんいただきました。月曜から生かし、金管部の子どもたちが生き生きと演奏できるようにしていきたいです。



■ 選択講座 E

打楽器を使ったアンサンブル

山室 砂織 (打楽器奏者・指導者)

三大打楽器(小太鼓・大太鼓・シンバル)の色々

★打楽器を演奏する上で必要な基本奏法(小太鼓のスティックを使用して…)

♪ グリップ

♪ 指・手首・腕の使い方

♪ スティックを落とすスピード など…

★各々の楽器の奏法

♪ 小太鼓(S.D)

♪ 大太鼓(B.D)

♪ シンバル(C.Cymb.・S.Cymb.)

★リズムの種類 と楽器の組合せ

♪ 8ビート

♪ 16ビート

♪ ラテンのリズム

★教科書教材を使って合奏しましょう！

<参加者のアンケートより>

- ・ 打楽器の奏法を色々学べて授業に効果的に生かしていきたいと思います。
- ・ 楽しかったです。時間があればもっと他の楽器の事を教えていただきたかったです。また機会があればやっていただきたい講座です。小太鼓の基本、少しわかりました。



音楽指導相談コーナー

音楽教育推進協議会 常任理事

選択講座内、後半30分で、日々の指導で困っていること等を、各選択講座講師がアドバイスし課題解決をした。また、平行して「音楽指導について」の相談コーナーを、おんすいきょう常任理事が担当した。

前回実施の、前期「音楽科特別講座」(名古屋会場)にて、参加者アンケートに「音楽指導相談の時間をたっぷりつけて欲しい。実技講座の先生も見えたらいいなと思いました。(お忙しいと思いますが…)」の意見があり、この意見を反映した形とした。

全体的な感想(アンケートより)

楽しかったです。いい勉強になりました。ありがとうございました。

ありがとうございました！！

次回もぜひ参加したいです。いつ来ても楽しいので…

楽しく学べた一日でした。ありがとうございました。

すべての講座に興味があり迷いました。また、参加したいと思います。

五重奏とてもきれいでした。楽しめました。

今回の講座も大変濃い内容でした。

いろいろありがとうございます。また来たいので案内を送ってください。

新学指にも見られるように、諸外国の音楽の充実に伴い、諸民族の楽器についての選択講座が今後あれば、是非受講させていただきたいと思います。

すてきな木管五重奏、ありがとうございました。